



# たきさわ通信

- 第51号 -

hosogoelion@tonotv.com

http://takisawaseiko.jp

滝沢せいこう後援会報

平成30年（2018年）6月下旬作成  
後援会 会長 細川 潔  
〒028-0772遠野市上郷町細越23-51  
TEL 0198-65-2450 090-8784-5768

## 6月定例会 その主なるポイント

6月12日（火）から22日（金）までの11日間開催された6月定例会、その概要をお知らせします。

平成29年度一般会計第7号補正では、補正予算額106,825千円、当初予算比較では7.5%の増となり、総額は19,130,811千円となりました。これは、6号補正予算編成後に地方交付税や市債が確定したことによるものです。

平成30年度一般会計第1号補正では、補正予算額182,265千円、当初予算比較では1.0%の増となり、総額は17,962,265千円となりました。

その主なものは、①道の駅風の丘創業20周年感謝祭関連経費15,391千円②2020年東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン関連経費11,533千円③この春の豪雨被害への災害復旧経費51,000千円④国・県等補助事業内示に伴う事業費34,842千円⑤当初予算編成後の緊急かつ臨時的経費（主なるものは遠野ふれあい交流センター改修費、県営ほ場整備事業費、遠野市観光推進協議会負担金など）69,499千円などです。

**市税** この4月1日から国民健康保険税の課税限度額が54万円から58万円に引き上げられました。市たばこ税は10月1日から3回に分けて段階的に引き上げられます。加熱式たばこについても5年かけて段階的に引き上げられます。

**事業系等もえるごみ有料化** 事業系ごみについて法律で「事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄

物を自らの責任において適正に処理しなければならない。」と定められているため、今後有料化導入を検討するとしています。

**遠野駅舎に係る基本計画調査について** 遠野駅舎整備のため基本計画調査を行います。規模は現駅舎と同規模でJRと市の合築で新築するとしておりますが、調査結果により変更も有り得るとのことです。

**企業誘致について** 大野ゴム工業(株)の製品を全面的に取り扱って海外輸出するために、(株)ビッグフィールドがJRバス東北(株)の所に誘致されます。「本社+貿易」のワンストップ拠点を目指します。

**道の駅遠野風の丘創業20周年感謝祭関連経費** 当市の観光入込数は156万人（前年対比95.9%）で、震災を境として観光客の落ち込みに歯止めがかからない中、更には道路ネットワークの変化や復興イベントが予定されるなかでの風の丘の役割は大きいことから、20周年記念事業を開催し、市内外に魅力を発信し、交流の活発化により市内への回遊につなげようとするものです。

**県立高校再編計画（前期計画）統合見送りについて** 高校再編を考える市民会議が実施した署名は1万件を超え、県議会等への要望や請願採択、県議会から国への意見書提出となり、地方創生に向けた関わりやそれぞれの高校生の活躍、入学者数増等により、2020年度の統合を延期することとなりました。そして2020年度の入学状況を踏まえて、改めて検討する

■**住民自治と地域福祉充実**のために後援会活動を展開しております。人口減少に対抗していくためには地域力が欠かせません。高齢者にやさしいまちづくり、子づくりできる生活基盤整備や定住対策、子どもたちに夢と希望を与えられる教育環境など、課題は山積しております。皆さんの声をお聞かせください。そして滝沢せいこうの政治活動を応援して下さい。

とされました。

**オリンピック・パラリンピックホストタウン関係経費** 遠野市が東京オリンピック・パラリンピックホストタウンに指定されたことから、この7月にはブラジル視聴覚障がい者サッカー関係者が視察に来遠、8月にはこちらからブラジルを訪問、ブラジル岩手県人会創立60周年・県人移住100周年式典に参列、2019年夏と2020年夏にはブラジルからの選手団が合宿する予定です。そのため、クラブハウスの整備や市内の視覚障がい者の導線のバリアフリー化やユニバーサルデザイン化の街づくり、総合福祉センター南側のサッカー場B面の人工芝化を進めるため、その調査費を計上しています。この実施設計業務委託料は約6百40万円です。

**産地パワーアップ事業費** 日本一のホップの産地としての新品種導入、機械化・省力化を進め、産地拡大と担い手育成を一体的に取り組むため、農水省補助金を活用するもの。ホップ棚造成資材費のみが対象で補助額（2分の1以内）は約1千2百万円。実施主体は麒麟社の関係会社であるピアエクスプレス㈱です。

**六次産業化・地産地消推進事業費** 今年度内に東北横断道全線開通により、風の丘をはじめ市内の産直の売上が減少に転じると予想されることから、盛岡圏域を中心として販路拡大を図るもの。委託先は遠野ふるさと公社、5,816千円の委託料です。市内産直からの集荷体制と販路拡大に向け体制構築の実証、盛岡県内の利用者ニーズ調査・分析、事業計画策定などです。具体的には、イオンモール盛岡南の「結いの市」や「川徳デパ地下」に物資を2回搬送し、品不足を解消しようとするものです。確かにこれまで結いの市は赤字続きでしたが、昨年度は270万円程度まで赤字を小さくし、今年度は赤字の解消を目指しています。また、結いの市の事業は、公社内

部の独自採算事業であり、市からの負担を求めているものではありません。今回の事業の展開により、年間出荷額2千万円の増加を目指しています。遠野のアンテナショップとして、また、遠野の基幹産業である農業を守りその推進を図るため、頑張りたいと願わずにはられません。

#### **私が予算等審査特別委員会で質問した主なもの**

**①野生鳥獣防止対策について** 最近、有害駆除に係る岩手県の立ち入り調査が入り、草地から30メートル以内の罠の撤去を一方向的に指示され、上郷と青笹では直ちにすべての罠の撤去を行いました。それは、罠にクマが間違っかかかってしまう件数が3件続いたからでした。しかし、農地から30メートルという規定は遠野市独自の規定であり、県には関係ないことであり、また、採草放牧地は立派な農地であり、草地を農地ではないとした県の考えは極めて横暴であり、畜産や酪農の方々の生活を脅かすような県の指示だったため、市の考えを質しました。市では、県の考えは間違いであったと認め、直ちに罠設置を関係者に指示しました。

**②高校魅力化サポート事業について** この事業主体は遠野市教育文化振興財団ですが、今年度から、高校魅力化サポート事業として中高生海外派遣交流事業拡充を予定しており、特にも高校生へは、その拡充を補助することとなりました。これまでは派遣の条件の中にホストファミリーとして受入れることとありましたが、それでは、例えばアパート暮らしの生徒や共働きのご両親のお宅では受入ができないことであり、教育上の公平性に欠けることもあって、もっと柔軟に対応すべきであるということから今後の考えを質しましたが、今年度からは派遣する生徒にそのような条件は付さず、努力目標程度にとどめ、むしろ、遠野市民全体で受入体制を検討したいとの回答を得ることができました。

**後援会の会員募集中** この通信は、滝沢せいこうの政治活動報告及び後援会の会員募集を行っており、ご不在の場合でもご自宅の郵便受けに入れさせていただいておりますことをご了承ください。なお、後援会加入方法は次のとおりです。①電話による加入連絡（65-2450、090-8784-5768）②ファックスによる加入連絡（65-2450）③電子メールによる加入連絡（hosogoelion@tonotv.com）④直送・持参のいずれかです。

お名前	ご住所	電話番号	ご家族様・ご紹介家族様